

《配管資料》

I. 給水/給湯

- 設備棟の既存給水管からパイパスを取り、ウッドボイラーまでの給水管と設備棟までの既存給水管への給湯管は全て50A (SUS 304)、パイパスを取る際には分岐部2ヶ所、パイパス部にバルブの取付け。
- 給水ヘッド(50A)手前からミキシングバルブ給水(50A)を分岐、分岐部にはバルブの取付け。
- 給水ヘッド(50A)手前から本体給水(20A)を分岐、分岐部にはバルブの取付け。
- 給水ヘッド(50A)手前から露天風呂用の給水(15A)、ミキシングバルブ給水(15A)を分岐、分岐部にはバルブの取付け。
- 露天風呂に混合水洗(蛇口)を設ける場合、給水ヘッド(50A)手前から分岐。
- 排水は40A

II. 浴室暖房

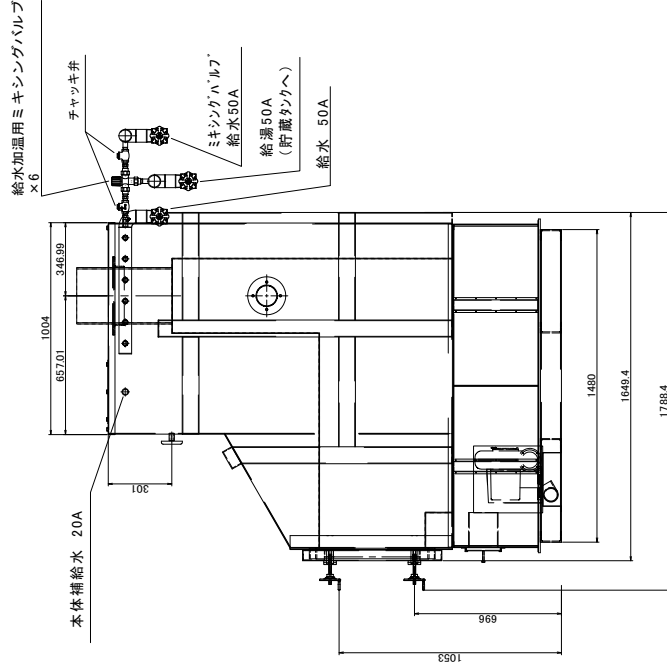
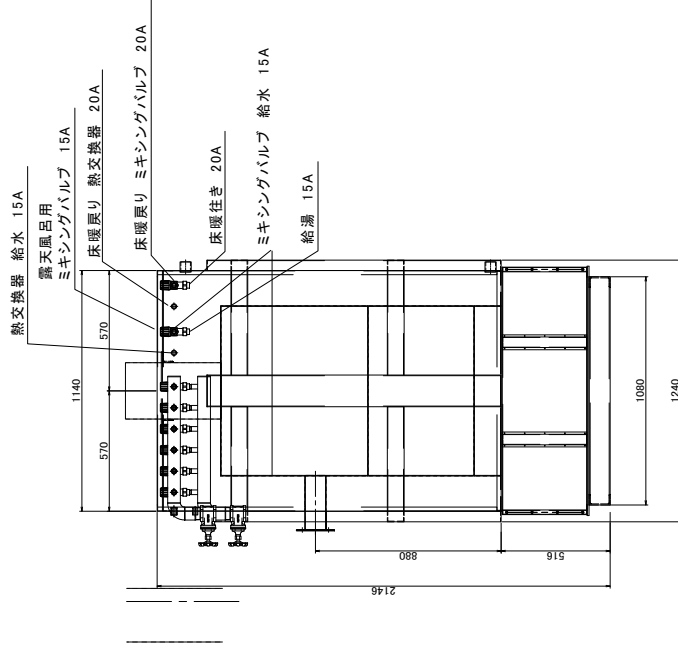
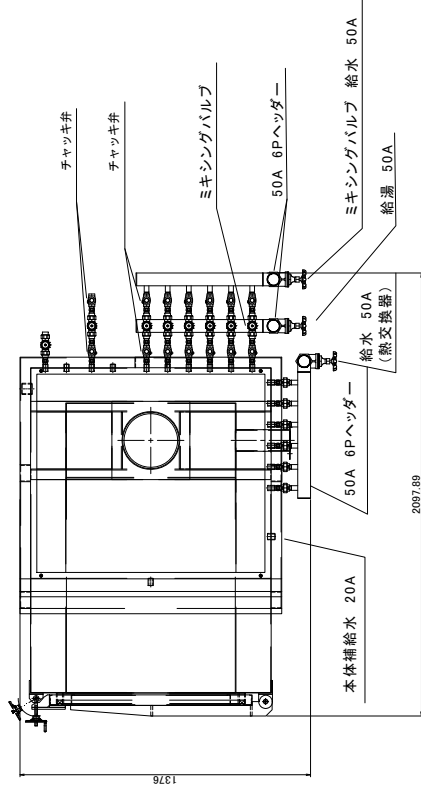
- ウッドボイラーから不凍液タンクまではSUS 304で施工。(ウッドボイラー本体1m以内は必ずSUS 304で施工)
- 不凍液タンクから床暖2Pヘッドの送り、長りは炭素ホリ13A(保溫材付)で施工。
- 床暖2Pヘッドから各浴室内は炭素ホリ13Aで施工。
- 床暖コントロールローラー3000は壁面に取付け。
- 床暖用サーミスタ(センサー)は復路配管に沿わせアルミテープで固定。

《コンクリート基礎》

参考:200mm×4,500mm×12,000mm  
 ウッドボイラー本体 総重量約2,000kgに耐える施工

◆図面と現場に相違がある場合は現場優先として下さい。

工事名 平成23年度 グリーンランドみずほウッドボイラー配管工事



工事名 平成23年度 グリーンランドみずほウッドボイラー配管工事

右側面、背面、平面外形図